

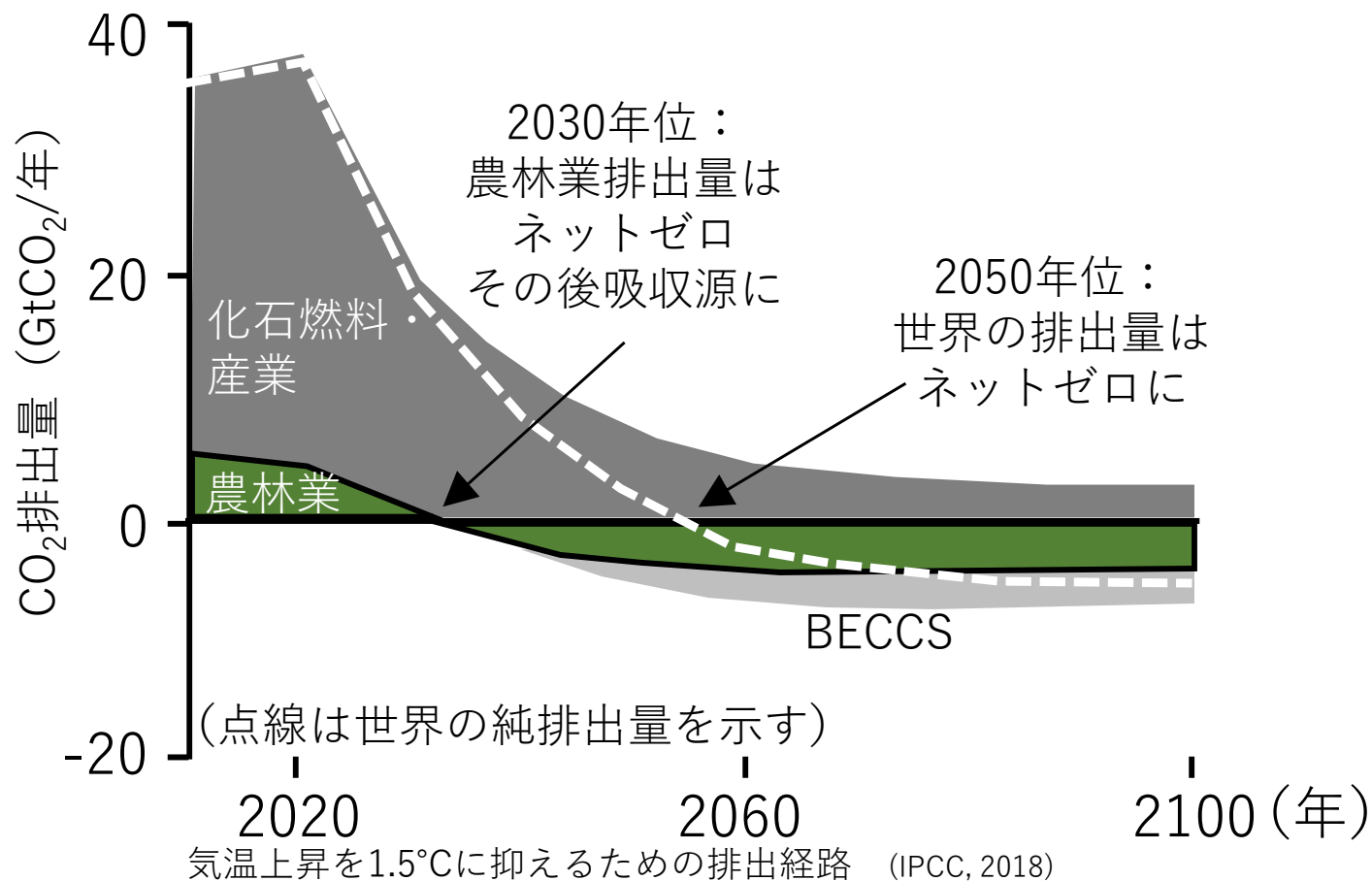
# 森林カーボンクレジットの動向：管轄（jurisdictional）REDD+とは何か？

## シーンセッティング

気候変動とエネルギー・生物多様性と森林領域  
リサーチマネージャー

梅宮 知佐

## 森林減少と脱炭素社会（ネットゼロ）の関り



- まずは熱帯林減少に伴う排出をゼロにしなければならない。
- UNFCCC COP26 (2021年) で、140以上の政府が、「**2030年までに森林減少と土地劣化を食い止め、回復させること**」を誓約。
- 中長期には、森林の吸収機能が、どうしても削減できない排出量の相殺に貢献。

BECCS: バイオマスエネルギー利用とCCS (CO<sub>2</sub>回収・貯留) を結び付けた技術。

## パリ協定のグローバル・ストックテイク（定期評価）、森林減少ゼロを強調

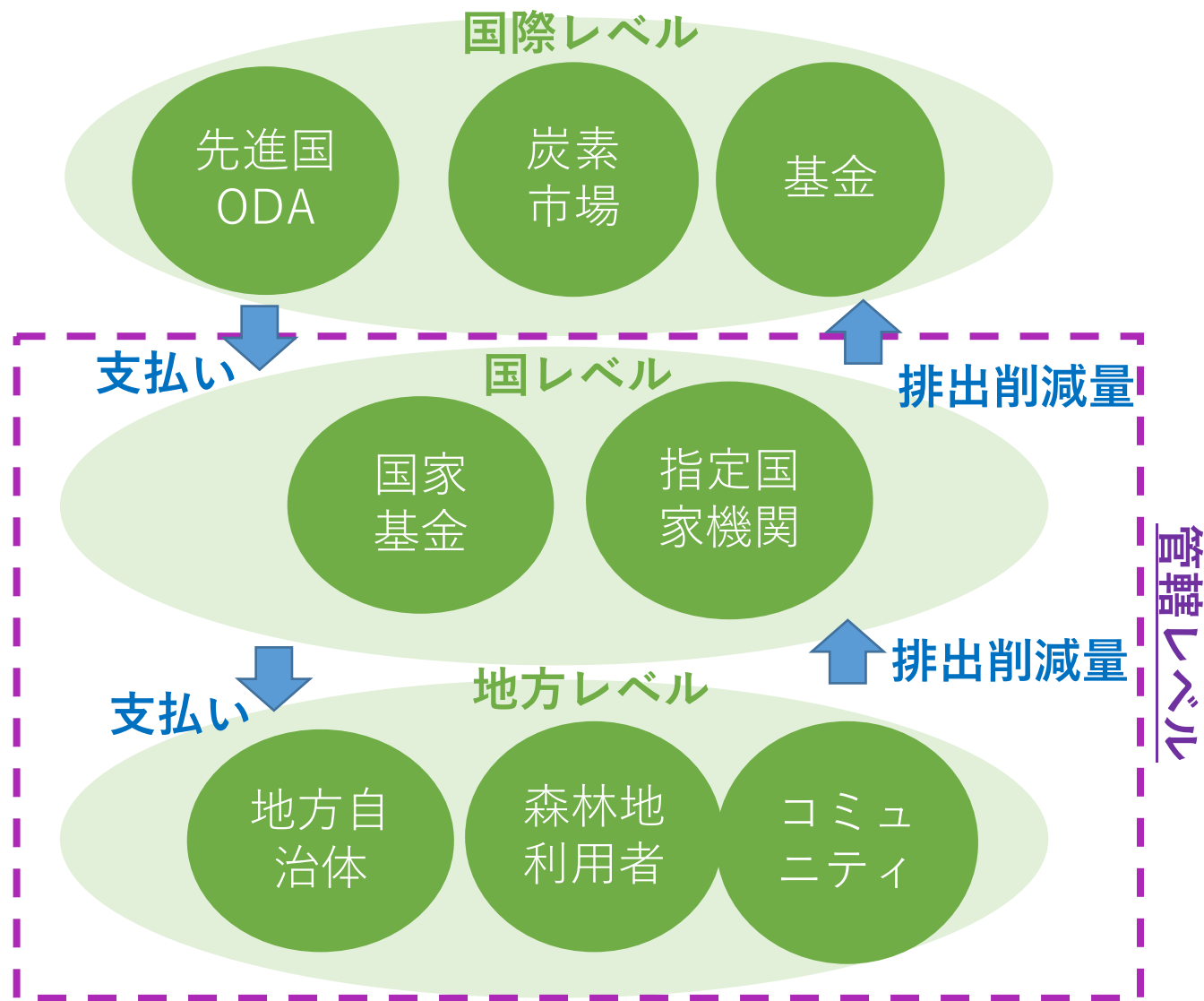
### 統合報告書より、森林減少に関する記述（抜粋）

- 2019年、**世界の排出量の約22%が農林業セクター**から排出され、その多くが、森林減少によって引き起こされている。
- **森林減少の95%が、熱帯域**で起きているが、その要因である**消費者**は世界中に居る。
- **2030年までに森林減少・劣化をゼロ**にし反転することは排出量を減らし、炭素ストックの保全・強化につながる。
- **REDD+等**の森林をベースにした生態系サービスへの支払い制度が、ますます多くの国で実施されて来ている。

- 現在、COP28（2023年11-12月）に向けて、パリ協定の定期評価であるグローバル・ストックテイク（GST）が進行中。
- 各国政府は、COP28でまとまる予定のグローバル・ストックテイクの結果を基に、次の2035年までの目標・行動（NDC）を定めなければならない。
- 政府の行動と並列し、企業、自治体、NGO、大学等の非政府主体の行動の重要性も強調。

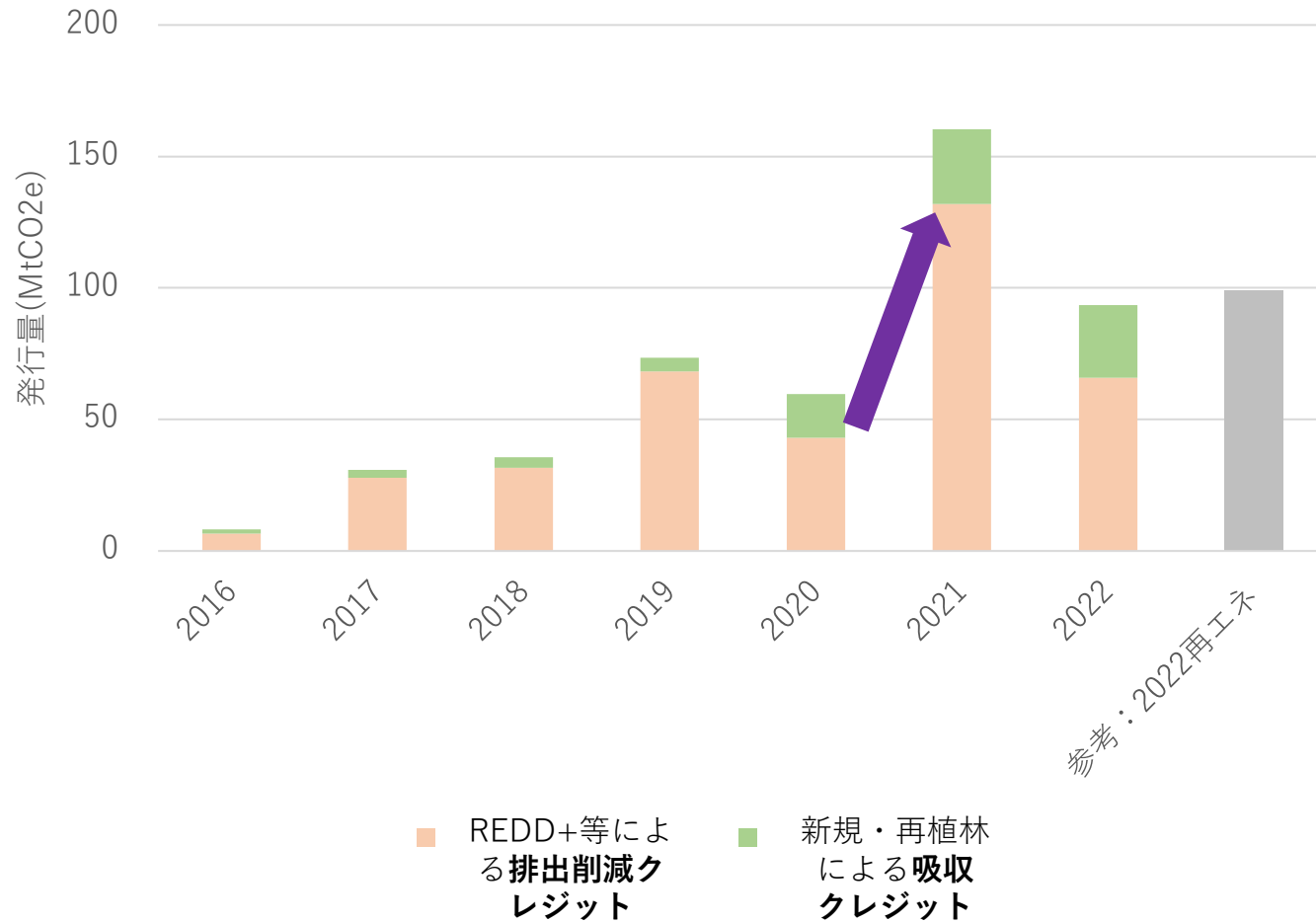
REDD+: Reducing Emissions from Deforestation and forest Degradation and the role of conservation, sustainable management of forests and enhancement of forest carbon stocks in developing countries

## REDD+概念とこれまでの進捗



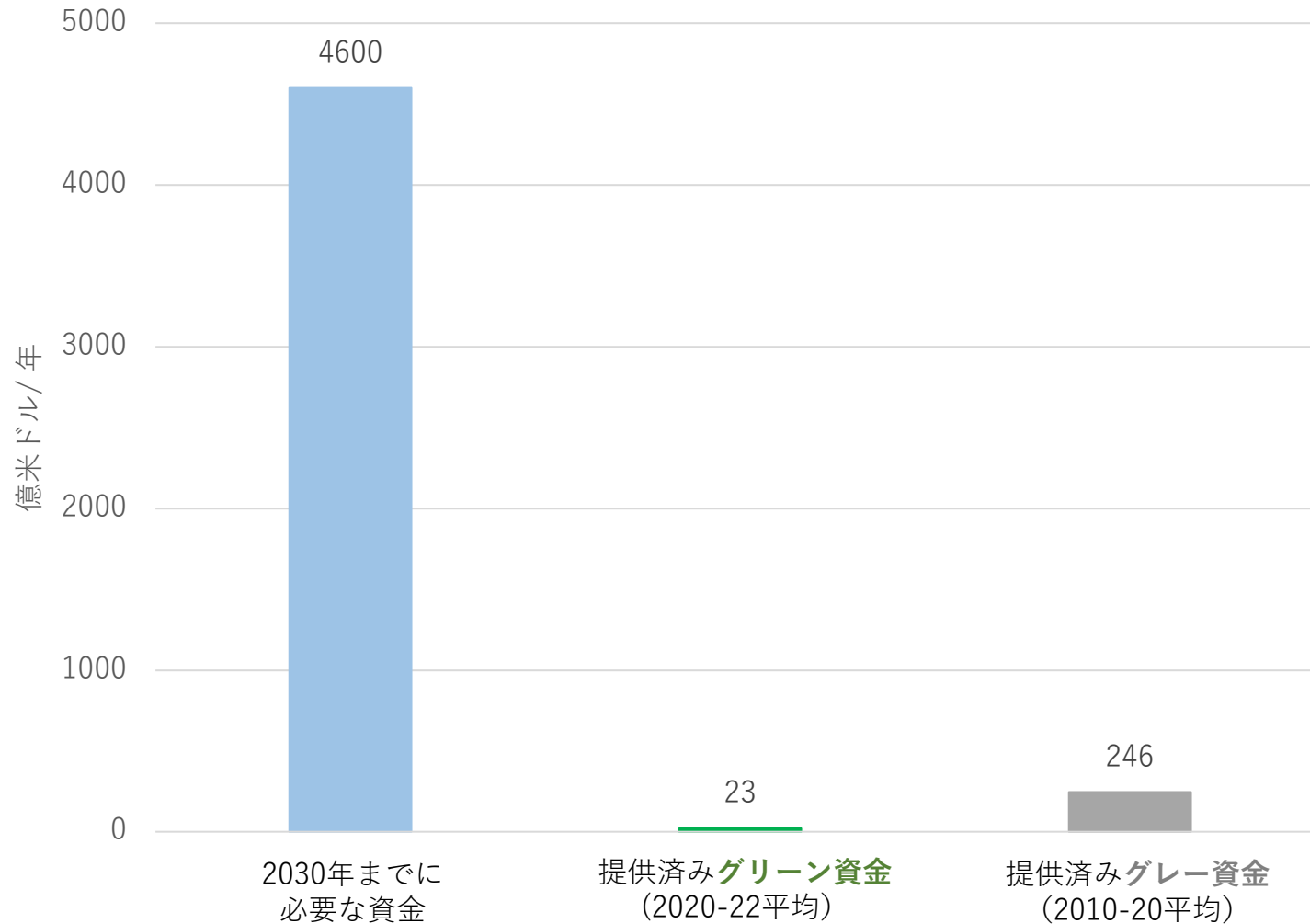
- ❑ COP13（2007年）、森林減少・劣化防止に伴い排出量削減を達成した途上国政府に対して支払いを行うフレームワーク「REDD+」誕生、国際的に広まる。
- ❑ 先進国ODAや基金等は、途上国政府に対して、REDD+実施のための準備支援を中心に行い、排出量削減に伴う支払いが大幅に遅れていたり、不十分。
- ❑ 一部先行する自主的炭素市場において、REDD+プロジェクトのクレジットの質に対する批判が高まる。

## 自主的炭素市場における森林クレジットの動向



- REDD+等による排出削減クレジット等、森林クレジットの発行量が増加。2022年時点、最大シェアの再エネクレジットに匹敵する。
- 特に欧米を中心とする企業によるネットゼロ宣言への動きから需要が高まっている。
- 価格帯は未だ低く（4.7-15ドル/トン）、1.5度目標と整合性のある支払いには程遠い（50-250ドル/トン）。

# 森林減少ゼロに必要な森林資金は全くと言って良いほど足りていない



- 現状、提供済みグリーン資金は、必要な資金の1%にも満たない。
- 提供済みグレー資金は、グリーン資金の10倍に上る。
- グレー資金をグリーン資金に切り替えても到底足りず、大幅な森林資金の増加は喫緊の課題である。

- **グリーン資金**：REDD+等森林減少ゼロに貢献する活動資金
- **グレー資金**：森林減少加速のリスクが高い活動資金

本日お伺いしたいこと  
(+ 視聴者の皆様のご質問も大歓迎です)

- 管轄レベルのREDD+について改めて教えてください。例えば、プロジェクトレベルのREDD+と比較して、大きく何がどう違うのでしょうか？
- REDD+のプロジェクトでは、クレジットの質が批判を受ける事態がありました。管轄レベルのREDD+では、これらの批判に耐えられる工夫があるのでしょうか？
- 今後、管轄REDD+は、大幅に不足する森林減少ゼロに必要な資金を埋める原動力となれますか？（ざっくりとでも構わないので）見通しはいかがでしょう？
- 管轄REDD+のクレジットの買い手（主に、企業）は、どのような意図、戦略で、管轄REDD+にアプローチし、クレジットを活用しているのですか？成功経験あるいは障壁を教えてください。